

第6回新丸山ダム水源地域協議会 開催報告

- 令和7年2月17日に「第6回新丸山ダム水源地域協議会」を開催し、ダム周辺地域の魅力を高め、地域の満足度を継続的に高める地域振興として作成した「魅力をつなぐプロジェクト」について、令和6年度 of 取組内容と来年度以降の行動計画「アクションプラン」の更新内容を確認しました。
- 今年度、3回のワーキンググループで検討した「魅力をつなぐプロジェクト」の実施内容について報告し、各地域における地域振興の取組状況（現状・将来像）について意見交換を行いました。



第5回新丸山ダム水源地域協議会の様子

【水野瑞浪市長】先進的な技術を活用した工事現場の見学も、新たな観光資源として活用できると考える。ダム事業と合わせて、下流域を含めた防災教育の普及も重要である。市としては、地域に愛着を持った個々人に焦点を当てながら更なる魅力向上に繋げていく方針である。

【小坂恵那市長】2市2町の連携により、交流が拡大し更なるファン開拓に繋がれると考える。ダム建設と合わせたインフラ整備によって、八百津町とのアクセスが向上し、更なる展開も期待できる。各市町の桜や紅葉の名所などの景色を繋げる取組も効果があると考えます。

【金子八百津町長】ダム周辺の観光を繋げていく取組や、八百津町社会科の副読本作成など様々なプロジェクトが進められていて感謝する。防災協定を締結している自治体と防災講演会を通じて交流する機会があった。今後は防災を通じた上下流交流を進めたい。

【渡辺御嵩町長】情報発信では、歴史的なストーリー付けが重要である。広域的な繋がりが必要であるため、2市2町をつなぐ城跡や中山道等の歴史文化も活用できると良い。町政70周年を迎えるため、町内外を結び付けて誘客につなげる動機付けを図っていく方針である。

【小森関西電力(株)東海支社長】ダム周辺地域の横の繋がりが強化されていると感じた。今年は、大阪・関西万博があり、インバウンド観光客の増加が見込まれるため、更に中部圏との繋がりができると良い。

【稲垣木曽川水系ダム統管理事務所長】ダム事業者として、本協議会も活用し、水のふるさとについて今後も情報発信を進めていく。また、季節感も足し合わせて、今しか見れないダムをテーマとし、ダム酒やダム茶などダムを活用した取組や、周辺地域のPRも進めていく。

【加納新丸山ダム工事事務所長】2市2町・ダム関係機関として連携しながら、継続して取組が進められており基盤は整ってきていると感じている。次のステップとして協議会で頂いた意見を追加し、今後のアクションプランの充実を図っていく方針である。



瑞浪市 水野市長 恵那市 小坂市長 八百津町 金子町長 御嵩町 渡辺町長



関西電力(株)東海支社 小森支社長 木曽川水系ダム統管理事務所 稲垣所長 新丸山ダム工事事務所 加納所長